2003-0801-45（最終） 1904.1.1 0:26 AM ページ1 (1,2)

大島小学校

通学路

中山　真里

私たち大島小学校には、いろいろな地域から通っています。その中の杉生、旭ケ丘、鎌倉の児童が通る道で、とても狭い道があります。幅は2〜3人でぎゅうぎゅうになり、車道に手を出すと、トラックなどに当たりそうです。危ないので、歩道を広くしてガードレールをつけてほしいです。

▽建設部長　喜多　護

杉生交差点から大島小学校までの歩道については、狭く危険な状況であるため、県に要望していました。結果、杉生交差点から大島小学校までの約400mの区間において3・5mの両側歩道設置の事業計画が決定されました。

今年から用地買収などの作業にとりかかり、概ね4年間で工事が完成する計画です。

これらの工事が完成すれば安全に通学できることと考えています。それまでの間皆さんも交通ルールを守って、安全通行に心がけてください。

松葉杖

池田　美穂

私は、昨年大ケガをして松葉杖をついて学校生活を過ごしていました。遠く離れた体育館から、3階の端の音楽室まで行くのに苦労したことがありました。雨が降った日の廊下はビショビショで滑って怖かったです。

このようなことからも、大島小学校に、バリアフリーの施設を整えてください。

▽教育次長　植村　孝治

現在、大島小学校も含め各学校の施設整備計画を見直しています。一度には出来ませんが、順次バリアフリーに向けて整備していきたいと考えています。それまでの間は大変とは思いますが、みんなでお互いに助け合っていただきたいと思います。

各学校をバリアフリーにして、子どもから高齢者、そして体の不自由な人も、地域の皆さんが集まってスポーツや文化面で、もっと交流ができるような環境にしていきたいと考えています。

六瀬中学校

学校の給食について

中山　友里

私達が残してしまった給食はどうなっているのですか。学校で難民について勉強したのですが、世界中にはご飯が食べられない子達が多くいます。その子達のことも考えると残さず食べようと思うのですが、全体的に量が多いときがあります。もったいないので、できるだけ残飯量を減らし、世界中の子達を支援することはできないでしょうか。

▽教育次長　植村　孝治

学校給食の残食は、現在家畜飼育業者に引き取ってもらっています。また、難民救済は大切なことではありますが、学校給食は、皆さんの身体をつくったり、生きていくための力となるため、必要な栄養量が年齢により決められていますので減らすことはできません。もし、給食を残したりするお友達がいるようでしたら、残さず食べるよう声をかけてください。

他国との交流について

渡瀬　聖子

六瀬中学校では、国際交流大会といって、年に一度JICAの研修員の方と交流をします。この大会では言葉が通じなくても、他国の人とふれあうことで、教室では学べないものをたくさん得ることができます。猪名川町でもこのような催しをすれば、バララットとの交流がより深まるのではないでしょうか。

▽教育長　橋本　義和

町内の各学校園では、六瀬中学校のようなJICA研修員の方々との交流は実施しておりませんが、町の姉妹都市であるオーストラリア・バララット市の中・高生が毎年猪名川町を訪問され、幼稚園、小学校、中学校で交流会を開催しています。今年は、姉妹都市提携15周年にあたり記念式典も行います。今後とも交流の輪が広がるよう、取り組んでいきます。

松尾台小学校

猪名川町の特産物について

黒石　千絵

私は、猪名川町の特産物をアピールしたり、良いところをもっと知ってほしいと思っています。そのためには、猪名川町の特産物をホームページなどで紹介したり、販売するなどすればいいと思います。三田市の有名な「二郎いちご」もホームページで買いに来てもらうように呼びかけをしているので、遠い人やたくさんの人が買いにきています。

猪名川町の特産物の種類を増やすだけでなく、ホームページを活用して他市町にアピールして、猪名川町のいい所など知ってもらいたいです。

▽助役　西村　悟

猪名川町では、特産品を通じた町のPRが有効であることから、町内の皆さんとともに開発に取り組んできました。現在では、特産品と認定したものは、7種39品目となっています。

また、今年道の駅を大きくしますが、この時にあわせ観光情報や野菜を作る農家の紹介、特産品など猪名川町をよりたくさんの人に知っていただくため、インターネットを活用しPRする計画です。このインターネットを活用するPR計画では、来年3月頃に貸し農園・野菜のもぎ取り園の紹介なども行いますので、楽しみにしていてください。

外国の友達としたいことについて

谷岡　夏見

私たち子どもも、外国の子どもと遊びを通して仲良くなりたいと思っています。でも実際に遊ぼうと思っても、遠くて行くことができません。そこで、インターネットを使って、たくさんの外国の友達と遊べるように、猪名川町のホームページで一緒に遊べる仕掛けをつくったらどうでしょうか。

▽教育長　橋本　義和

現在、六瀬中学校では、姉妹都市バララット市の子どもたちとEメールによる文通をして交流を深めています。

しかし、外国の方々とEメールでやりとりするには、言葉の問題があります。中学校に入学すれば、英語を習いますので、しっかり勉強して英語を使ってEメールを送信できるように頑張ってください。世界中に友達を増やすことも夢ではありません。

また、学校単位で海外の学校と猪名川町の学校の子どもたち同士が、Eメールによる文通を進めていくことは将来的には可能です。

21世紀の主役たち　国体レスリング指導者

真田町長が訪ねた

熱気あふれる猪名川高校レスリング部を訪ね、指導者から話を聞く真田町長

平成18年に「第61回国民体育大会」が兵庫県で開催され、本町ではレスリングが行われます。この競技を盛り上げるため、猪名川高校の専門指導者3人が一生懸命選手の養成や体制づくりに励まれています。

町長　国体開催に向け、いよいよ本格的な準備に入りました。亀田先生をはじめ、長和先生、井田先生など、一流の先生に指導いただき心強いです。選手を育てることは大変だと思いますが、高校ではどうですか。

長和　私が赴任して2年目にレスリング部を設立しました。現在2年生が8人、1年生が4人と徐々にクラブらしくなり、来年あたりが楽しみだと思っています。

町長　井田先生は、これまでに国体で優勝されるなどすごい実績をお持ちですね。

井田　はい。兵庫国体までは、選手としても頑張りたいと思っています。

町長　猪名川町で、先生の活躍が拝見できるんですね。応援します。

長和　猪名川高校で、この8月の終わりに国体の兵庫県予選を開催する予定です。

町長　それは、ぜひ観戦します

長和　今の中学3年生が、高校3年の年に国体を迎えます。高校生からでもレスリングはできますので、興味を持ってほしいと思います。

恵まれた指導のもとで挑戦！

町長　良い指導者と良い環境に恵まれたら力を発揮する子は必ずいると思います。今、猪名川高校は大変恵まれた環境にあるといえます。

亀田　幅広く理解していただき、高校のレスリングやチビっ子レスリングにたくさんの人が集まってくれるよう望んでいます。

町長　猪名川町にレスリングファンが増えることを期待します。私も地域が盛り上がるよう努めますので、今後ともご支援ください。

子ども議会を終えて

今日は、緊張したけど楽しかったです。また、私たち子どもの意見を、真剣に聞いてくれたり、一生懸命答えてくれたりして、とても嬉しく感じました。

これからも、今日の経験を生かして、学校でも意見が言えるようにしたいです。

白金小学校

落書きについて

飯野　慧

町内で、落書きを見かけました。それを見た時、気分がとても悪かったです。そういった落書きが減るように、町として何かしていただけないでしょうか。例えば、チラシで呼びかけるとか。僕も、落書きをしている人を見かけたら注意しようと思います。

▽建設部長　喜多　護

平成12年ごろから公園や道路の落書きが多発しており、町では、書かれたら、すぐ消し常にきれいな公共施設の状況を維持するように努めるとともに、落書きをされないように看板を立てたり、自治会の人たちと共に注意を呼びかけることは勿論のこと、青少年指導員の方によるパトロールなど、色々手をつくしていますが、なくならないのが実情です。

今後とも、地域住民と協力しながら、落書きがなくなるように取り組んでいきたいと思います。

核兵器を使わない町について

藤瀬　翔太郎

僕は、前に自動車学校の前を通っていると「核兵器廃絶平和の町宣言」と看板に書いているのを見ましたが、どんな活動をしているのですか。また、なぜそうした看板をつくったのかを教えてください。

▽町長　真田　保男

平和な暮らしを守り続けることは、誰もが願っていることです。猪名川町では日本国憲法の平和精神に基づき核兵器が地球上からなくなることを願い、「核兵器廃絶平和の町」の宣言をしております。このことを住民の皆さんにも考え意識していただくために、看板を立てています。

また、夏には人権と平和のつどいを開催したり、世界の国々で核兵器の実験が行われると、抗議の手紙を届けて核兵器反対を訴えています。

皆さんも、平和な社会を築くには、どのようにすればいいのか話し合っていただきたいと思います。

つつじが丘小学校

自給自足について

源済　俊

日本で作った食べ物は、40%の人しか当たらない。もし外国から食べ物が入らなくなった時のためにも、猪名川産の野菜やお米が手軽に手に入れることができるように、道の駅みたいな所を増やせないでしょうか。

▽環境経済部長　別当　敬治

日本の自給率は主要先進国では最低の水準です。このような状況の中、新鮮で安全・安心な猪名川産の野菜をみんなが喜んで買っていただけるよう、道の駅で販売したり、町内のスーパーマーケットでも猪名川産の野菜コーナーを設けて販売しています。

これからも猪名川町で生産される安全で安心な野菜やお米について、町民の皆さんや農家の皆さんに、もっと関心を持っていただけるよう、PRと指導をして行きます。

第二名神

尾川　いづみ

猪名川町は、自然がたくさんある所に、高速道路をつくるなんてやめてほしいと思います。去年清和台につながる道をつくって自然がたくさん壊されたのに、また高速道路をつくって自然をどんどん壊していくのは反対です。だから工夫して高速道路をつくってもらえないでしょうか。

▽町長　真田　保男

現在、国において第二名神の建設計画がなされ、既に一部において建設が進んでいる状況にあります。

すばらしい自然資源に恵まれた猪名川町なので、建設に当たっては当然、緑化、騒音、景観などの環境には最優先して地元地域と連携をとりながら進めてまいりたいと思っています。ご指摘のとおり、道路建設など開発と、自然環境保護は、相反するものであり、私たちが生活をする上で、その折り合いをどこに求めるか大変難しい問題です。

皆さんも、一度こういったことについて、学校でも話し合いをしていただいたらと思います。

阿古谷小学校

校区内に何か店をつくってほしい

角庵　佑樹

阿古谷小学校区内には、全然店がありません。店をつくったら、自転車で買い物に行ける人が増えて、とても助かると思います。だから店を校区内につくってください。

▽環境経済部長　別当　敬治

阿古谷の県道沿いは、コンビニなどをつくることができる地域となっていますが、お店をつくろうと思う人が、この地域で経営が成り立つと見込めることが必要であり、現状ではむずかしいようです。

一方、阿古谷は、猪名川町を代表する自然豊かな所です。この自然資源を材料に校区の住民の皆さんとともに考え、まちづくりを進めていきたいと思います。

横断歩道を渡らないで学校まで行きたい

上島　有希

私達の通学路は横断歩道が多く、また、車がスピードを出していたりして、とても危険です。みんなが危険に遭わないようにするには、「横断歩道を渡らないで行けたらいいな」と思いました。だから歩道をつくってほしいです。

▽建設部長　喜多　護

通学路でもある県道能勢猪名川線は、カーブが多く歩道も狭いところがあるので、町から県へ要望した結果、紫合の山田橋付近から約250mの間、大きなカーブを緩やかにし、併せてこの区間において西側へ2・5mの歩道が整備されることとなりました。

今後とも、通学路の整備を行っていきますので、安全な通学に心がけてください。

楊津小学校

林田の横断歩道について

薬師　大雅

去年、林田の横断歩道で、子どもと車の事故がありました。信号があれば、事故はなかったと思います。だから、この場所に信号をつけてください。

▽助役　西村　悟

林田交差点の信号機設置については、以前からも要望があり、町としても兵庫県警察本部に要望していましたが、昨年の回答では交通量や道路の形等から信号機は設置出来ないとの回答でした。

しかし、この交差点が危険であることから、本年に、林田から県道へ出るところに、一旦停止の規制標識を設置することになりました。

今後とも、交通事故のない安全で住みよいまちづくりの実現に向け努力していきます。

楊津小学校のトイレについて

平原　翔太

楊津小学校のトイレは狭く感じます。また、各階にトイレがないため、急いでいる時などに困ります。だからトイレを大きく新しくし、各階につくってほしいです。

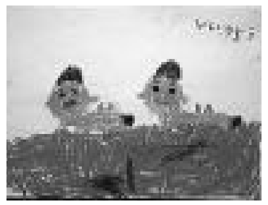
▽教育次長　植村　孝治

楊津小学校の校舎は今年で35年が経過しています。校舎の調査を行った結果、校舎の建て替えも検討する必要が出てきました。今後は、古い施設である大島小学校を含め、できるだけ早く整備計画の見直しや、整備工事を進めたいと考えており、校舎の新築、若しくは改修によってトイレの問題も解決するものと考えています。

作品コーナー　大島小学校

▼　字のバランスがとても良く、細筆もうまく使えています。
奥野　絢葉さん（3年）

▲　見ていてとても豪快で、気持ちのよい字です。
福井　康太くん（3年）



▲　みんなそろって、ワニさん歩きをしたよ。
石井　椋くん（1年）

▼　水をかけ合って、楽しかったよ。
大野　裕貴くん（1年）

消費生活のアドバイス　>145<

覚えのない請求にご用心

（事例）　旅行で留守の間に海外から手紙が届いていて、早速、開けたところ、私が海外の宝くじに当選していると書いてありました。高額な当選金を受け取るには参加申込書にクレジットカード番号を記載してすぐ返送しなければならないとなっていましたが、締切日を過ぎてしまっています。当選者にちゃんと私の名前が書いてあります。何とか、今から受け取る方法はありませんか？

（回答）　相談者に届いた海外からのダイレクトメールは、あたかも海外の宝くじに当選しているかのような記載がされていますが、注意して読むと実際には当選しているわけではなく、消費者に海外の宝くじ購入代行機関に購入申込みをさせる文面であることが分かりました。日本国内で海外宝くじの販売・取次ぎ・授受を行うことは、法律で禁止されており、消費者が海外の業者と直接取引をした場合においても違法との見解があります。

このような取引は当選したかのような非常に紛らわしい広告をしており、さらに、業者が本当に宝くじの購入をしているのかも不明であることから、詐欺罪に該当する可能性もあります。

また、書面に記載されている国際電話番号にかけたところ、オーストラリアにある会社で日本人と思われる女性が出ましたので、今後このような違法な勧誘はしないように申し入れました。

今回は相談者が留守だったため被害から免れましたが、決して世の中、うまい話はない事。また、ささいな事でもおかしいかなと思ったら、気軽にコーナーを利用していただくように説明しました。

疑問な点は、消費生活相談コーナー（766・1110）へ。

はい！ポーズ

前田　澪里ちゃん
1歳7カ月（松尾台）

いつもニコニコの澪里。優しくて元気な子に育ってネ。澪里はパパとママの大切な宝物だよ。
父　雅章・母　悦子さん

山本　陸人くん
1歳9カ月（差組）

お外が大好き。いつでもどこでも裸足で走り回っています。一杯遊んで、強く育ってね。
父　登・母　千恵さん